

COOP

京都の生協

2003 April NO. 48

発行 京都府生活協同組合連合会

〒604-0851 京都市中京区烏丸夷川東南角 せいきょう会館2F

TEL.075-251-1551 FAX.075-251-1555

ホームページURL: <http://ha2.seikyone.jp/home/Kyotofu,Seikyoren/>

メールアドレス: Kyotofu,Seikyoren@ma2.seikyone.jp

CONTENTS

- ネットワークNOW 2
 - 御冷泉家時雨亭文庫事務局長 冷泉貴実子さん
 - 京都府生活協同組合連合会副会長 (京都生協理事長) 小林 智子さん
- ◆ 2003年新春交歓会を開催 7
- ◆ 「食品安全行政の充実」をもとめて、国会議員・府会議員との勉強会・懇談会を開催しました 8
- ◆ 食品安全関連法案、いよいよ国会審議入り 9
- ◆ 大学生協京都事業連合 第38回 学生の消費生活に関する実態調査発表 10
- ◆ 第4回 京都・三医療生協組合員交流会開かれる 11
- ◆ 京都生協で第5回「コープ・産直・地場商品大交流会」開催 12
- TOPICS 14
 - マスコミ関係者と京都府生協連役職員との懇談会
 - 第3回世界水フォーラム 虹のつどい / 第4回京都消費者フォーラム / 子育て世代のためのライフプランセミナー / 2002年度役職員・監事研修会 / 第2回京都府生協連・指定居宅介護支援事業と訪問介護支援事業交流会 / 「新たな食品行政を考える」地方意見交換会 / 第8回「元気を広げる広報活動交流会」 / 京都生協「平和活動交流会」
- ◆ お知らせ ◆ 探訪 16



ネットワーク・ナウ
対談
Network!
Now

京都府生活協同組合連合会副会長
(京都生協理事長) 小林 智子さん

小林 智子さん



御冷泉家時雨亭文庫事務局長 冷泉貴実子さん



近畿地区7生協が「事業連合」結成へ...



JA女性協・大村律子会長とともに奥山茂彦衆議院議員へ食の安全をもとめる要請

京都府生活協同組合連合会副会長（京都生協理事長）

小林 こばやし

智子 ともこさん



（財）冷泉家時雨亭文庫事務局長

冷泉貴実子 れいせいきみこさん

季節の感覚を共有し、
ともに味わう——それが冷泉家の和歌
大切にしたいのは、歴史あるまじの良識ある市民として暮らすこと

ネットワーク・ナウ Network! 対談 Now

21世紀に
はばたく
京都の生協

桃の節句といえば、いまや三月三日が一般的だが、京都は旧暦で祝う家が多く、菱形ゼリーを四月初めにも扱ってほしいというリクエストが多い。かの藤原俊成・定家を始祖に持ち、和歌と平安貴族の伝統を守り続けてきた冷泉家もほとんどの行事を旧暦で執り行う。冷泉貴実子さんは、旧暦のほうが季節感に合致して、自然なのだと語る。旧暦はほんとうに「古い」のか？ 伝統のなかに生きながら、「血」に頼らず、「財団法人」という形式を自在に取り込む冷泉家のありようが、いま新鮮に映るのはなぜなのか？ そんな疑問を胸に、現存する唯一の公家屋敷を訪ねた。

守り抜くことの重み、苦しみ

小林 これだけのお屋敷を維持なさるには大変なご苦労がありでしょうね。

冷泉 まずお金の工面ですね(笑)。家の解体修理が終ったのですが、その費用が大変だったんです。重要文化財に指定されている部分でも、助成されるのは工事費用の四分の三のみで、残り四分の一は財団が工面しなければなりません、重文指定外の部分の工事に関しては補助金は一切出ません。ですから、「冷泉家の至宝展」をさせていただいたのも、実はその資金集めというねらいがあったんです。

小林 そうだったんですか。それは私たちには窺い知れない悩みですね。

冷泉 もちろん、私どもが保存していたものをたくさんの方々にごらんになっていただきたいという思いもございましたけれど、お金集めもかなり意識していましたね(笑)。

小林 あの展覧会はとても話題になって、多くの人が観ました。

冷泉 ほんとうに！ 初日の人並みを見たときは、うれしかったですね。あの展覧会はスポンサー探しの段階から難航したんですよ。いくつかの新聞社にお願いしたのですが、「ゴッホやセザンヌは客が入るが、和モノはだめ」と断られて、結局、NHKが引き受けてくださった。私どもは展覧会収入で改修工事の費用を捻出しようと思っていましたから、「赤字だったらどうしよう」と、開催する直前まで心配で、心配で、そのプレッシャーたるやもう…(笑)。

冷泉家は「一流の一流」?

小林 貴重な書物や調度品などが収められた御文庫は、冷泉家にとって神様のように大切な場所、いまでもご当主しか入れないそうですね。

冷泉 …と言うと何かとても特別なものに聞こえますが、わかりやすく申しますと、「家元」という名の特許を守るために、「家元」である当主しか入れなかった蔵、それが御文庫なんです。小林 ご当主が家元…ですか。

冷泉 ええ、家元制度の始まりは私どもではなかったかと、私は常々思っているんですよ。つまりね、江戸時代の頃、政治の実権は幕府が握り、朝廷は古くから伝わる年中行事を執り行うことを主な仕事としました。が、やがてそれぞれの行事を担う家がプロ化していきます。たとえば飛鳥井家は蹴鞠、山科家は装束や衣紋、三条家は琵琶…というふうな。そして、明日は宮中で蹴鞠となると、公家たちは飛鳥井家に蹴鞠を習いに行

くわけです。当時、宮中を囲むこの辺りは公家屋敷が立ち並んでいましたから、そうやって行き来しながらお互いに教えあっていたのです。

それぞれの道に関する公家たちの知識や技術は、いわば当時の権威であって、朝廷外の人びとの憧れを集め、上方文化の礎ともなっていて、武士から町人へと伝わっていきます。そして、そうした文化に憧れを抱いた人たちが門下に入ってきて、しだいに公家の当主は人びとに伝来の知識や技術を伝える「家元」のようになっていきました。さしずめ冷泉の家は歌道の家元になったのです。

でも、家元の認証制度もありませんので、「家元」が「家元」であるためには、何か特別な「装置」が必要です。それは、冷泉家においては、「典籍(書物)」や御神体を納めた御文庫に当主以外入ってはならぬ」という決まりであり、限られた人だけに歌の解釈を伝える「古今





してのお仕事ですが、具体的にどんなことを？

冷泉 冷泉家に伝来する典籍、建物、和歌を基本とする年中行事、この3つの保存と継承です。この仕事はとても個人では支えきれませんので、一九八一（昭和五六）年に財団法人冷泉家時雨亭文庫を設立しました。財団の活動で最も大事なものは典籍の保存と公開です。今年

は国宝が一つ、重要文化財が二つ増える予定ですので、それにかかわる国の指定調査が非常に大きな仕事ですし、典籍も非常に古く傷みの激しいものですから、なかなか現物をみなさんに見ていただくわけにはまいりません。そこで白紙の部分も一ページ残さず写真に撮り、「冷泉家時雨亭叢書」として五〇巻以上も刊行を続けています。

小林 現在の二五代目ご当主・為人たみひとさんは、「冷泉の家が八〇〇年も続いたのは『一流の二流』だったからだ」と、おもしろいことをおっしゃっていますね。

冷泉 冷泉の家はあまり偉くなかったということです（笑）。先祖の藤原俊成卿や定家卿は天

オスターですが、その後は天才も出ない代わりに、蔵のものを売り飛ばすような悪人も出ず、冷泉家の人間は和歌ひとすじに生きました。それがよかったんですね。

振り返れば八〇〇年の間には戦乱・飢饉・火事などに何度も遭いましたが、それは冷泉家だけのことではありません。どこのお家にもご先祖があり、いま生きているということは、つまり過去があるのです。冷泉の家が八〇〇年続いたことも、たしかに「えらいことやなあ」とは

同じ季節の感覚を共有する 冷泉家の和歌

小林 さて、いよいよ和歌について伺います（笑）。冷泉家では夏の間、毎日一題ずつ詠む「夏百首」とか、一日に一〇〇首詠む「一夜百首」をなさると伺いました。そんなにたくさんのお歌をつくるのは苦行ではありませんか（笑）。

冷泉 現代短歌、つまり正岡子規以降の短歌は、自我の表現をめざす文学の一ジャンルです

と思いますが、それは代々の人が「いま」を一所懸命生きてこられた証であって、それこそが大事なことだと思います。

が、冷泉の和歌はそれとはまったく違います。現代短歌が「あなたと私は違う」ということを表現するものだとすれば、冷泉の和歌は「私とあなたは同じ」ということを表現するものではないか。

たとえばお正月はおめでたいので、新年の歌会では「初春のよろこび」を、「鶯」「梅」といった決まった言葉を使って表現

伝授」でした。

お料理屋さんには秘伝の味を、昨日入ったようなアルバイトには決して教えないし、場合によっては板長さんしか知らないお店もありますでしょ？ あれと同じようなものだと考えてくださればよろしいですね。

小林 なるほど、よくわかりました（笑）。その「家元」と

ネットワーク・ナウ
Network!
対談 **Now**

します。実際には雀が鳴き、チ
ューリップが咲いていても、や
っぱり「鶯の初音」に「梅香」
といった言葉を使って、同じ季
節の感覚をともに楽しむのです。
これが基本になれば冷泉家の
歌会は始まりません。この知識
が教養であり、逆にこの教養さ
え身につければ、うちの和歌は
簡単なのです。

小林 季節や自然に対する感
覚を共有し、決まったパターン

四季を詠み、 季節を味わう

小林 つまり、冷泉家の和歌
においては、季節感がとても大
事なのですね。

冷泉 そうなんです。ですが
ら、季節をあらわす言葉も無数
で、私はそれこそが日本の文化
やと思うんですよ。私たちは、
ふきのとうや土筆を見つけると
「ああ春が来た」と思い、お花見
にヤイヤイと気を揉みますでし
よ？(笑)。これは日本人に共通し
た感性ではないかと思えますね。
小林 四季のはっきりした日
本ならではの感覚でしょうね。

を身につければ、あとはプラス
アルファの部分で遊ぶのですね。

冷泉 そうです。いまの宮中
の歌会は現代的になさっている
ので、みなさん、あのイメージ
が強いのだと思いますが、あの
ような詠み方で一〇〇首もつく
るのはたしかに苦しい。でも、
私どものように、夏は「五月雨」
「螢」「橘」：といったパターン
があれば、一〇〇首ぐらいはわ
りあい簡単に詠めます(笑)。

ところが、食の世界では年中同
じような野菜が出回るようにな
り、しだいに季節感が薄れてい
ます。冬のキュウリは多くのエ
ネルギーを使って温室栽培され
るので、消費者としては
まずそのことを知って、なるべ
く近くで採れた旬のものをおい
しく食べるように心がけたいと
思いますし、京都の生協も、「京
都で採れた産物はできるだけ京
都で消費しましょう」と、生産
者のみなさんと一緒に取り組ん
でいます。



ではなく、暮らしを彩ったり、
心と心を結び合わせたりするの
が人間の食という営みなのでし
ょうね。冷泉家でも、年中行事
に合わせたお料理のきまりがあ
ると思いますが、たとえば桃の
節句にはどんなものを召し上が
るのですか？

冷泉 うちでは、お雛さんを
片づける前日ぐらいいに、赤のご
飯(うるち米で炊く小豆ご飯)、
大根なます、白味噌のおつゆ、
筍やかまぼこのお煮物、笹カレ
イの焼き物など本物のご飯を、
お雛さんのお膳にあげます。私
が子どもの頃は、その日はお友
だちをお呼びして、お雛さんに
あげたお膳をすべして(下げて
きて)、みんなでいただきました。
まるでおままごとみたいで、そ
れはもう最高に楽しかったで
すね。

「家族」のかたちも もっと融通無碍に

小林 雛人形やお道具もたい
へんな数だと思いますが、毎年、
全部飾られるのはたいへんでし
ょう？

冷泉 いまは財団の事務所の
人がヤイヤイ言いながら出して
くれます。やっぱりお雛さんは、
たくさんの人とヤイヤイ言いな

がら飾って、一緒に眺めて楽しむもので、独りで飾って、独りで眺めて、独りで片づけるなんてできませんね。昔は子どもの

数も多かったし、家のなかには

お手伝いさんや事務をやってくれる人たちなど、いわゆる「他人」もけっこういました。その

人たちも含めての「冷泉家」であって、その人たちも一体となって「家」を支えてくれていたんですね。

その点、いまは人工受精のよう高度な生殖技術を使ってまで「実子」にこだわりすぎるのではないのでしょうか。昔のお寺には孤児や障害のある子がいたり、長屋では他家の子どもも一緒にご飯を食べさせたり、養子や里子も多くて、「家族のかたち」がもつと柔軟だったような気がします。

いま、独りでご飯を食べる子が増えているといわれますが、だったら昔の長屋のように、隣のお母さんと一緒に食べられるような、そんな融通無碍な仕掛けがあってもいいのではないのでしょうか。

「家族」を、血縁でつながっ

た人間だけに限定しないで、他人の子どもの面倒を見てあげることももう少しあってもいいのではないかと思いますね。

小林 以前は、地域が共同体の機能を果していて、近所のおじさんやおばさんも子どもたち

を見守り、叱ってくれました。いまは共同体としての地域の力が低下しているのですね。

冷泉 だから、お母さんにばかり負担がかかって、しんどくなつて、虐待に走ったりするのでしょうかね。

良識ある市民として 歴史都市に暮らす

小林 貴実子さんは女子校で和歌を教えておられますが、現代つ子はどのように詠みますか。

冷泉 教えるとDNAが目覚めるようで、わりあい上手に詠みますよ。ただ、痛切に感じるのは、子どもたちの感覚から「秋」が欠落していること。春の桜、夏の海や山、冬の雪はわかる。でも、秋の紅葉は出てこない。紅葉の美が、子どもたちにはわからないんです。秋ほど、日本人の魂に訴えてきた季節はないというのに……

この原因は、私が思うに商業主義です。だって、京都の紅葉がいちばん美しい一二月、京都駅に着いた方々がまず目になさるのは派手なクリスマスツリー

でしょう（笑）。まだ雪も降らないのに、街の飾り付けも音楽もクリスマス一色。そんな環境のなかで育てば、「秋の七草」「すだく虫」「月影」なんて抜けてしまふのも無理はないと思います。

小林 そう言えば生協の店舗も一月中旬からクリスマスモードに入ります。耳が痛いですね（笑）。たしかに、まだそれほど

寒くないのに、カレンダー上ではクリスマスやお正月が近づいてきて、実際の季節感とのずれを感じるがあります。最近では旧暦が見直されつつあるようですが、冷泉家の行事も旧暦でなさっているそうですね。

冷泉 ええ。旧暦ですと、お正月には梅が咲いて鶯も来ます

し、桃の節句には桃が咲きます。七夕が梅雨の最中になることもありません。新暦でいくかぎり、季節感が衰えるのも必然かもしれませんね。

小林 京都は、暑さ寒さともに厳しく、気候の折り目がはっきりしていますし、行事食の伝統も一般家庭のレベルで比較的によく残っているまちですから、私は季節とともに暮らすことを大事にしたいと思っています。貴実子さんは、京都で暮らすことの意味をどのようにお考えになつていますか。

冷泉 京都は、遷都から二二〇〇年の間、荒廃したことはあっても、一度も消えたことのない不思議な都市です。一二〇〇年もの歴史を持ち続けている世

界史的にも希有なまちなのでから、この美的・知的な文化的財産を大切にしたいですね。

もちろん、やたら壊すことは論外ですし、目立つことのみを優先した派手なばかりや看板などいかなものではないでしょうか。もう少し美的センスを大事にしたいと思っています。

小林 それを不釣り合いだと感じる市民のセンスが大切ですね。

冷泉 そうです。それが歴史あるまちに生まれた市民としての良識ですし、それはちゃんと育てていきたいですね。

小林 きょう聞かせていただいたお話をそのきっかけのひとつにしたいと思います。ありがとうございます。



京都府生活協同組合連合会事務局長

冷泉 貴実子さん



京都府生活協同組合連合会副会長／京都生協理事

小林 智子さん

2003年新春交歓会を開催 —なごやかに新年を祝う—

1月11日、2003年新春交歓会を平安会館で開催しました。

地元選出の国会議員、府会議員のみなさんをはじめとし、行政や協同組合などから、120名のご出席をいただきました。

京都橘女子箏曲部の演奏でオープニング。吉田会長理事が新春のあいさつをのべました



2003年新春交歓会—なごやかに行政・協同組合はじめ各界の方々と

京都府商工部次長・黄瀬謙治さん、農林水産省近畿農政局局長・黒木幾雄さん、JA京都中央会参事・十川洋美さん（中川泰宏会長代理）より、ごあいさつをいただきました。

京都商工会議所専務理事・小堀脩さんのご発声で乾杯し、なごやかな懇談となりました。

当日ご出席をいただいた国会議員のみなさん（敬称略・順不同）

自由民主党

奥山 茂彦（代理・秘書和田さん）

（内閣府大臣政務官・衆議院議員）

菱田 嘉明（代理・秘書奥山さん）

（衆議院議員）

民主党

前原 誠司（衆議院議員）

福山 哲郎（衆議院議員）

山井 和則（衆議院議員）

松井 孝治（衆議院議員）

日本共産党

穀田 恵二（衆議院議員）



京都府商工部次長・黄瀬謙治さん



農林水産省近畿農政局局長・黒木幾雄さん



JA京都中央会参事・十川洋美さん
（中川泰宏会長代理）



京都商工会議所専務理事・小堀脩さん

西山 登紀子（参議院議員）

井上 哲士（参議院議員）

当日メッセージをお寄せいただいたみなさん（敬称略・順不同）

玉置 一弥

（民主党衆議院議員）

池坊 保子

（文部科学大臣政務官・公明党衆議院議員）

小牧 誠一郎

（自由民主党・京都府府議会議員）

木村 繁雄

（京都府議会新正会議員団長）

北川 龍市

（京都市社会福祉協議会会長）

ご参加いただいた国会議員のみなさんをご紹介し、この間の食の安全に関わるとりくみへのご支援のお礼と今後の期待を申し上げ、各党の代表の方からそれぞれごあいさつをいただきました。



自由民主党・衆議院議員・奥山茂彦さん
（代理・秘書和田 彰さん）



民主党・衆議院議員・山井和則さん



日本共産党・参議院議員・西山登紀子さん

閉会にあたり、小林副会長理事よりお礼を申し上げます。

「食品安全行政の充実」をもとめて、 国会議員・府会議員との勉強・懇談会 懇談会を開催しました

国会議員との勉強・懇談会

1月20日からはじまった国会での食の安全施策審議にあたり、消費者の意見が十分反映され、充実したものになるよう、国会議員を囲んで勉強・懇談会を開催しました。

1月18日、JA会館で、JA京都中央会との共同開催により、自由民主党衆議院議員・奥山茂彦

彦さん（文部科学委員会理事、内閣委員会委員、前厚生労働大臣政務官、内閣府大臣政務官）と懇談し、22名が参加しました。

1月27日、城陽市立福祉センターで、京都住宅生協・山中信和専務はじめ20名が参加し、民主党衆議院議員・山井和則さん（厚生労働委員）との懇談をおこないました。途中から、参議院議員・松井孝治さんも参加されました。

食の安全施策を求める 国会議員との勉強・懇談会



自由民主党衆議院議員・奥山茂彦さんと懇談

食の安全施策を求める 国会議員との勉強・懇談会



民主党衆議院議員・山井和則さん、参議院議員・松井孝治さん

国会議員との勉強・懇談会



日本共産党参議院議員・西山登紀子さんと懇談

2月1日、せいきよう会館で、日本共産党参議院議員・西山登紀子さん（経済産業委員、行政監視委員、国民生活・経済にかんする調査会理事）と懇談会をおこない、20名が参加しました。食品安全基本法（仮称）など新しい法律や食品安全委員会（仮称）などの新行政組織について、意見交換。生協としての「食品安全基本法制定・食品安全委員会設置にあたっての要請」書を手渡しました。

府会各派との勉強・懇談会

京都府の食品安全施策に私たち消費者の意見が十分反映され、充実したものになるように、京都府会議員会派との懇談をすすめました。「京都府の食品安全行政強化にむけた生協からの政策提言」書を手渡しました。

1月21日、京都府庁議会議棟で、日本共産党府会議員団と懇談をおこないました。前窪義由紀、三双順子、三木一弘府会議員らが参加しました。



日本共産党府会議員団と懇談

1月24日、せいきよう会館で民主党京都府会議員有志との懇談をおこない、熊谷哲、北岡ちはる府会議員が参加。参議院議員・福山哲郎さん（京都府本部長）にも同席いただきました。

京都府生協連では、ひきつづき、京都府や府会各派、京都市などにたいして、食品安全行政の充実をもとめる、要請をおこなっています。

食の安全施策を求める 府会議員との勉強・懇談会



民主党京都府会議員有志との懇談

今後、国会で食品安全関連法案が成立すると、地方自治体レベルで、どのように具体化されてくるのが、大きな焦点となつてきます。

食品安全関連法案、いよいよ国会審議入り

2月7日、食品安全基本法をはじめ、食品の安全性確保に関連する個別法の改正等が、閣議決定されました。

これからは、いよいよ国会を舞台にした審議がおこなわれることとなります。3月13日には衆院本会議で、4月2日には内閣委員会で審議されました。

生協をはじめ、あしかけ5年にわたり、食品安全の社会システムの実現をもとめて、食品衛生法の抜本改正の活動をすすめてきました。その後のBSEの国内発生や偽装表示、無認可添加物などの問題が表面化するなかで、わたしたちの取り組みは、食品安全のための包括的な法律である食品安全基本法の制定や食品安全委員会の設置などをふくむ活動として前進してきました。今国会に提出された法案は、下記のとおりです。消費者の声が多くの部分に反映されています。京都府選出の谷垣禎一さんが食品安全委員会（仮称）等担当大臣となり、2月7日、左記の談話を発表しています。

谷垣禎一・食品安全委員会（仮称）等担当大臣が談話

（2003年2月7日）

食生活を取り巻く環境が大きく変化の中で、一昨年の牛海綿状脳症の発生を始めて、昨年の外国産野菜における農薬の残留や国内における無登録農薬の使用など、食品の安全性に関する問題が相次いで発生し、食品の安全性の確保に対する国民の関心は、従来にも増して高まっております。

食品安全基本法案は、このよう

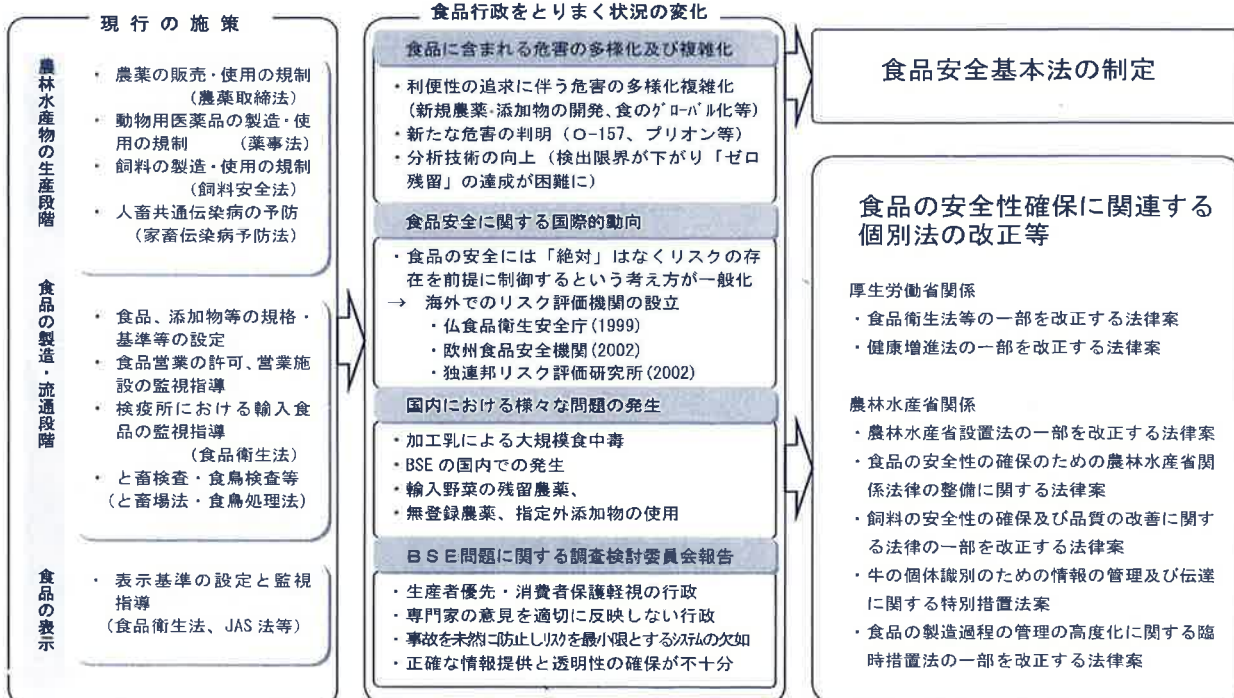


谷垣禎一担当大臣

な状況に適切に対応するため、
第一に、食品の安全性の確保についての基本理念として、国民の健康保護が最も重要であること等を定め、
第二に、食品健康影響評価の実施とこれに基づく施策の策定等を基本的な方針として定めるとともに、
第三に、食品健康影響評価の実施を主たる任務とする食品安全委員会を新たに内閣府に設立すること等により、食品の安全性の確保を総合的に推進するものです。
本法案に基づく食品安全委員会

の設立に伴い、今後の食品安全行政は、科学的評価を行う委員会と評価の結果に基づいて、基準・規格の設定、規制等行政措置を行う関係各省という役割分担の下に、幅広く関係者間で情報及び意見の交換を行いながら進められることとなります。（略）
私としては、国会の審議に全力で取り組むとともに、委員会の発足に向けた準備を進めることにより、国民の皆様の御理解を得ながら、食品の安全性に対する信頼の回復に努めてまいりたいと考えております。

食品の安全性の確保に向けた取組



第38回 学生の消費生活に関する実態調査発表

(2002年度)

この調査は、大学生の生活や行動と生協の利用状況等を明らかにし、生協の諸活動の発展と学生生活の充実に役立てることを目的に行なわれています。今年で38回をむかえますが、全国の100大学、およそ4万人が参加し、社会的にも高い評価を受けています。



京都に学ぶ学生の生活像は…引き続き収入減で生活は堅実に、大学生活では勉強と豊かな人間関係を重視

<1ヶ月の収入>

自宅生64,000円、自宅外生137,000円

昨年に引き続きアルバイト収入減少、奨学金は増加。

1ヶ月の収入
自宅生

	1993年(円)	2002年(円)	対比(%)	増減額(円)
収入合計	64,040	64,130	100.1	90
仕送り	18,360	21,070	114.8	2,710
アルバイト	39,850	33,340	83.7	-6,510
奨学金	4,240	8,150	192.2	3,910

自宅外生

	1993年(円)	2002年(円)	対比(%)	増減額(円)
収入合計	135,170	137,130	101.5	1,960
仕送り	92,800	94,280	101.6	1,480
アルバイト	29,760	23,230	78.1	-6,530
奨学金	11,330	17,920	158.2	6,590

<1ヶ月の支出>

自宅生48,000円、自宅外生120,030円

自宅外生の住居費の平均は54,020円と収入の約40%を占めている。一人暮らしの住まいはアパート・マンションが増加、専用のキッチンやバス付きがほとんど。

1ヶ月の支出
自宅生

	1993年(円)	2002年(円)	対比(%)	増減額(円)
支出合計	61,650	60,280	97.8	-1,370
書籍費	3,340	2,200	65.9	-1,140
勉学費	1,520	1,570	103.3	50
教娯費	12,280	7,600	61.9	-4,680
食費	13,170	10,150	77.1	-3,020
住居費	280	150	53.6	-130
貯金	10,600	12,100	114.2	1,500

自宅外生

	1993年(円)	2002年(円)	対比(%)	増減額(円)
支出合計	131,450	131,830	100.3	380
書籍費	4,210	3,200	76.0	-1,010
勉学費	2,000	2,220	111.0	220
教娯費	13,660	9,690	70.9	-3,970
食費	35,250	27,840	79.0	-7,410
住居費	42,920	54,020	125.9	11,100
貯金	12,840	11,800	91.9	-1,040



<節約したいと思う費目>

節約したい一番の費目は外食費、ついで嗜好品代と電話代。ここ数年の支出動向では食費に大きな変化はなく、「これ以上減らせない」というのが実態のよう。



<増やしたいと思う費目>

増やしたい一番の費目は貯金、ついで書籍費、衣料品代、勉学費。実際は書籍費減少、勉学費は現状維持。

<大学生活での重点>

勉強第一派について豊かな人間関係派、ほどんど組み合わせ派、クラブ第一派と続く。

大学生活での重点

	1993年(%)	2002年(%)	増減(%)
勉強第一	20.5	25.9	5.4
クラブ第一	17.5	13.5	-4.0
趣味第一	12.1	10.5	-1.6
豊かな人間関係	21.2	17.0	-4.2
資格取得第一	3.8	6.2	2.4
バイト・貯金	3.5	2.8	-0.7
ほどんどに組み合わせ	15.2	17.0	1.8
なんとなく	4.5	4.9	0.4
その他	0.9	0.9	0.0



第4回京都・三医療生協組合員交流会開かれる

乙訓医療生協・京都医療生協・やましろ健康医療生協

2月15日、やましろ健康医療生協本部で、第4回京都・三医療生協組合員交流会が開かれ、組合員・役職員50名が参加しました。

交流会は、京都医療生協・山内博貴事務局次長の司会のもとですすめられ、やましろ健康医療生協・佐藤京子理事長が開会あいさつしました。



メイン講演では、尼崎医療生協・安松節子常務理事が「まちづくり・夢マップづくりの活動」をテーマにお話しされました。健康で安心できるまちづくりへむけて、とりくんでいる「まちなみマップ」づくりの活動により、医療生協の支部活動の質が大きく変化したとのべられました。「地域、住民の生活が見えてきた」「要求が見えてくる」「自分たちでできること」は何か、考える支部活動になってきたなど、参加組合員の声を紹介されました。

講演のち、「班活動」「健康づくり」「夢マップづくり」の3つの分科会にわかれて、交流をおこないました。

「班活動」分科会では、楽しくつづける工夫や班会メニュー自慢などの報告がありました。「健康づくり」分科会では、健康チェックのとりくみやサークル活動について報告がありました。

「夢マップづくり」分科会では、講演をうけて、やましろ健康医療生協がとりくんでいる「まちなみチェック」の事例報告のほか、保健・医療・福祉のネットワークについて発言があり、安松常務の助言をいただきました。



～だから今 つなぎ合い、学び育てよう 確かな商品～

京都生協で第5回 「コープ・産直・地場商品大交流会」開催

2月22日（土）、龍谷大学深草学舎で京都生協の「コープ・産直・地場商品大交流会」が開催されました。

この交流会は、組合員・職員・生産者・メーカーがそれぞれその年の商品活動をふりかえり、たがいに顔の見える関係を強めて次年度につなげることを

目的として97年から毎年開催されています。

第5回となる今回の交流会には、今秋に結成が予定される「近畿地区事業連合」へ参加する近畿地区生協から組合員理事の出席もあり、全体で734名の参加となりました。



京都の農協と生協が めざす地産地消

恒例となった組合員の商品活動紹介につき、JA京都中央会の野々口康史課長から「京都の農協と生協がめざす地産地消」と題して、京都の野菜自給率をめぐる情勢についての報告がありました。

JA京都中央会の野々口課長は「野菜の自給率をめぐる情勢や農業のことを知ってもらうためにも消費者との交流をすすめていきたい」と抱負をのべました。

鳥取県畜産農協の「コープ新産直牛ネーミング募集結果と採用者表彰」もおこなわれました。鳥取県畜産農協の西山組合長から、コープ新産直牛のネーミング募集の当選者足立弘子さんに表彰状と賞品が手渡されました。新しく決まったネーミングは「こだわり鳥取牛」です。



▲鳥取県畜産農協の西山組合長から、ネーミング募集の当選者に表彰状と賞品が手渡されました。

◀JA京都中央会の野々口康史課長



組合員とともに



700名を超える参加者で、会場（龍谷大学深草学舎）はいっぱいに

開会あいさつに立った小林理
事長（京都府生協連副会長）は、
「この一年は消費者にとってひ
きつづき食の安全がゆらぎ、大
きな不安を抱いた年となりました
た。京都生協もプライベート商
品において供給者の責任を問わ
れるという事態が起こり、商品

事業の再構築の年となりました
が、本日組合員・職員・生産
者・メーカーがいつしよにこの
一年の商品活動をふりかえり、
交流してたがいの信頼をよりに
したかなものにして、次年度につ
なげたい」とのべました。

近畿地区の生協の 事業連帯へ大きな一歩

「近畿地区事業連合」に参加
する各生協（おおさかパルコー
プ・大阪いずみ市民生協・大阪
よどがわ市民生協・ならコー
プ・わかやま市民生協・コープ
しが・京都生協）の組合員理事
から、それぞれ事業連合への期
待をこめて「組合員の願いを実
現するために、近畿地区の7生
協がともに力を合わせてがんば
りましょう」とのあいさつがあ
り、会場からは大きな拍手が起
こりました。

最後に、「商品の『確かさ』は
信頼を積み重ねる中で実現する
もの。組合員・職員・メーカ
ー・生産者がたがいに『真のパ
ートナー』となれるように今後
も交流を重ねていきたい」との
集会アピールを拍手で採択し、
実行委員長・坂本伊津美さんの
「本日の発表で心に残ったこと
を来年度の活動の中に生かして、
一人でも多くの組合員と共有し
てほしい。また来年この場でみ
なさんとお会いしましょう」と
いうあいさつで終了しました。

今秋に「事業連合」 設立へ

昨年1月、前述の7つの生協
により、「近畿地区事業連帯推進
協議会」が結成され、日生協全
国共同開発商品などの共同仕入
れや事業連帯組織のあり方につ
いての検討をすすめてきました
が、今年秋に法人格をもった
「事業連合」が設立される見通し
となりました。

全国には、すでに9つの生協
事業連合が結成されており、近
畿地区でも、7つの生協が「事
業連合」の結成をめざします。

生活協同組合の「事業連合」
とは、組合員のくらしへの貢献
と各生協の経営強化を目的に、
商品の仕入れや開発、コンピュー
タシステムや物流のしくみの
整備、品質管理などを共同して
おこなうための組織で、法的に
契約行為のできる法人格をもち
ます。

近畿地区7生協の総組合員数
は149万人、総供給高で23
00億円（2001年度末時点）、
であり、まとまりの力を生かし
て、いっそうの低価格と品揃え

の充実、品質の向上が期待され
ます。

店舗事業では、これまでどお
り、Eネット協同連帯機構（コ
ープこうべを中心とする近畿・
中四国・東海・北陸地域の18
生協で構成）のメリットを生か
しながら、あわせて近隣という
地理的条件を生かしたメリット
を追求します。

全国の生協事業連合組織

- ◇コープ東北サネット事業連合
宮城・山形・岩手・秋田の4生協
- ◇コープネット事業連合
埼玉・東京・千葉・茨城・栃木・
群馬の6生協
- ◇首都圏コープ事業連合
東京・神奈川・千葉・埼玉・
茨城・山梨・群馬の9生協
- ◇ユーコープ事業連合
神奈川・静岡・山梨の6生協
- ◇生活クラブ連合会
東京・神奈川・埼玉・千葉・
長野・北海道・茨城・山梨・
岩手・静岡・愛知・栃木・青森・
山形・群馬の22生協
- ◇コープ北陸事業連合
福井・石川・富山の3生協
- ◇東海コープ事業連合
岐阜・三重・愛知の5生協
- ◇グリーンコープ事業連合
鳥取・島根・広島・山口・福岡・
佐賀・長崎・大分・熊本・
鹿児島・宮崎の11生協・1連合会
- ◇コープ九州事業連合
福岡・大分・宮崎・鹿児島・
熊本・佐賀・長崎・沖縄の8生協

マスコミ関係者と京都府生協連役職員との懇談会開催

3月11日、平安会館で京都に本支局を置く新聞放送編集者と、京都府生協連役職員との懇談会が開催されました。

開会にあたり、京都府生協連・吉田智道会長理事とNHK京都放送局・山本壮太局長からあいさつがありました。

生協からは、「2002年度の特徴的な活動」として、①食の安全を求めるとりくみ（京都府生協連 小峰耕二専務理事）②組合員のくらしの要望と地域生協の課題（京都生協 小林智子理事長）③大学生のくらしの実態調査から（大学生協京都事業連合 酒井克彦専務理事）④医療生協の活動について（京都医療生協 田中弘専務理事）の報告がありました。

つづいて地域生協の近畿地区7生協の事業連帯／個配／共同購入商品の量目・価格・班の状況／大学生協の学生新聞購読状況／構内でのコンビニ等の導入／京大桂キャンパスについて／医療生協の地域

展開状況／組合員利用などについて、質問が出されました。

最後に京都府生協連・小林智子副会長理事と、月曜会からは、KBS京都・新村章報道局長からあいさつがあり、終了しました。



懇談会にご参加いただいたみなさん（順不同敬称略）

朝日新聞社京都支局	支局長 大西 信治
NHK京都放送局	放送局長 山本 壮太
NHK京都放送局	放送部長 西園寺周三
京都新聞社	編集局総務 松本忠之
共同通信社京都支局	支局長 樋口 伸司
KBS京都	報道局長 新村 章
時事通信社京都総局	総局長 榎本 雅晴
日本経済新聞社京都支社	支社長 岸根 明
毎日新聞社京都支局	支局長 武田 哲夫
読売新聞社京都総局	総局長 森栄 徹

「第3回世界水フォーラム 虹のつどい」開催

3月20日、生協実行委員会（滋賀県生協連・京都府生協連・コープしが・京都生協・大阪北生協）の主催で「第3回世界水フォーラム 虹のつどい」が大阪市の大津市のピアザ淡海会場で開催され、200名を超える参加でにぎわいました。

華道家元池坊／次期家元・池坊由紀さん（世界水フォーラム推進京都実行委員会特別委員）より、メッセージをいただきました。

学習講演第一部は「くらしと水／琵琶湖淀川水系の過去・現在・未来」と題して医療法人南労会 環境監視研究所の中地重晴先生に、第二部は



「食と水／郷土料理と地産地消の大切さについて」と題して滋賀大学教育学部教授の堀越昌子先生にお話しいただきました。

つづいてコープしがと京都生協の組合員が水に関わる環境のとりくみを紹介。コープしが甲南センター環境実行委員会は「水はどこから…そしてどこへ…」と題して、活動報告。京都生協からは相楽環境委員会が「木津川での水質調査のあゆみ」を報告しました。

郷土料理試食会では、えび豆、もろこつくだ煮、さばずし、びわますご飯、永源寺こんにゃくなど、滋賀県の食材を使用した料理が多数並びました。



第4回京都消費者フォーラムに参加

1月25日、ハートピア京都大会議室を会場に約80人の参加で「第4回京都消費者フォーラム」が開催されました。

京都府生協連は「いま、子どもたちの食生活は…安全と安心をどうつくっていくか」をテーマにシンポジウムを企画。生協総合研究所研究員の西村一郎さんが「2002年子どもの食生活全国調査」にもとづきメイン報告。京都市教育委員会体育健康教育室指導主事の平田健一郎さん、京都大学生協管理栄養士の友藤弘子さんから、それぞれ中学生・大学生の食生活の現状について報告がありました。



「子育て世代のためのライフプランセミナー」を開催

1月25日、コープイン京都を会場に55名の参加で「子育て世代のためのライフプランセミナー」が開催されました。

これは京都府生協連がおもに30〜40歳代の役職員を対象に企画したもの。午前の部ではファイナンシャルプランナーのいちのせかつみさんが「おもしろい人生を探してみませんか」と題して講演。

つづく午後の部では、同じくファイナンシャルプランナーのかめやまたかしさんを講師に、「子育て中の生協職員のためのライフプランアドバイザー」と題した講演と、グループワークをおこないました。



京都府消費生活課主事・金子良一さん

2002年度 役職員・監事研修会に28名が参加

2月8日、各生協から28名の参加で、役職員・監事研修会が開催されました。

京都大学大学院経済学研究科助教授・若林靖永さんの「現代における生協の事業とIT革命」と題した講演につづき、京都府商工部消費生活課主事の金子良一さんが、生協模範定款例の一部改正と総代会議案書での情報開示、最近の生協の動向、生協の政治的中立の確保について報告。

つづいて日本生活協同組合連合会経営指導本部経理グループ・遠藤修二さんより、「監事の役割・『生協監事監査基準』による監査のすすめ方」についてお話しいただきました。

第2回京都府生協連・指定居宅介護支援事業と訪問介護支援事業交流会

2月20日、やましろ健康医療生協、乙訓医療生協、京都生協、京都府生協連から11名が参加して、第2回京都府生協連・指定居宅介護支援事業と訪問介護支援事業交流会が開催されました。

出席した各生協職員から、それぞれの福祉事業（指定居宅介護事業／在宅介護支援事業）の現状が報告され、つづいて意見を交流しました。



「新たな食品行政を考える」地方意見交換会に参加

2月25日、内閣官房・厚生労働省・農林水産省の主催で「新たな食品行政を考える」地方意見交換会がホテルニュー京都で開催されました。

京都府生協連からは小峰専務理事らが参加し、内閣官房「新たな食品行政について」、厚生労働省「食品衛生規制の見直しについて」、農林水産省「食の安全・安心のための農林水産施策について」の説明を受けました。

第8回「元気を広げる広報活動交流会」

3月1日、ハートピア京都で第8回「元気を広げる広報活動交流会」が開催されました。

今回は第3回世界水フォーラムの開催を目前に、各生協の環境活動の紹介と、それらの組合員への広報について交流しあいました。

メイン講演は、NPO法人吉野川みんなの会代表・姫野雅義さん。「徳島県吉野川第十堰・河口堰の運動と情報活動」

と題して吉野川第十堰をめぐるこの10年の住民運動についてお話しいただきました。

第8回元気を広げる広報活動交流会



NPO法人吉野川みんなの会代表・姫野雅義さん

京都生協で「2003年春平和活動交流会」開催

3月12日、30名の参加で京都生協の「2003年春平和活動交流会」が開催されました。

今回はイラク問題で緊迫した中での開催となりました。メイン講演は弁護士で日本反核法律家協会理事・原爆症認定訴訟近畿弁護団事務局長の徳岡宏一朗さん。「よくわかる！イラク問題と有事法制」と題して、わかりやすくユーモアたっぷりにお話しいただきました。

京都生協で「新コープさがの」
がグランドオープン

3月19日、京都生協のお店
コープさがの（右京区太秦）
が移転増床、グランドオープ
ンし、約4000人の来店で
にぎわいました。

新しい店舗は旧店舗と道路
をはさんだ向い側。

嵯峨野地域の生協のお店と
してなじんだ場所の隣接地へ
移転増床できたことに、地元
の組合員からは喜びの声が寄
せられました。



お知らせ 4月～6月

京都府生協連

第50回通常総会

日時：6月10日（火）

午後1時30分～5時（予定）

会場：池坊学園洗心館

6階第1会議室

京都市下京区四条室町鶏鉾町

491

ピースリレー2003京都

平和行進

日程：6月21日～26日

京都府生協連役職員体制に ついて

（二〇〇三年四月一日付）

会長理事／吉田 智道
副会長理事／小林 智子
専務理事／小峰 耕二
事務局長／坂本 茂（新）
事務局担当／酒向 美也子（新）
事務局担当／川端 浩子

※前事務局長・尾松数憲は、coop近
畿地区事業連帯推進協議会へ異動に
なりました。

社会福祉法人まいづる福祉会

ぷちふれんち

障害者地域生活支援センター

探訪

ほのぼの屋は、精神障害のある仲間の授産
施設として、昨年4月にオープンしました。
授産施設としては京都府内で初めてのレス
トラン営業をおこなっています。

東舞鶴湾を一望できる絶景のロケーシ
ョンにあり、美しい景色とフレンチを中心と
したリーズナブルでおいしいお料理をお楽
しみください。

ほのぼの屋



CAFE RESTAURANT
ぷちふれんち
ほのぼの屋

●営業時間：AM.10:00～PM.9:00 ●定休日：水曜日・第1第3火曜日
〒625-0007 京都府舞鶴市大字大波下小字滝ヶ浦202番56
TEL.0773-66-7711 FAX.0773-64-0002

